

委員会の指摘を踏まえ 一部修正予定



おきな鉄軌道ニュースは、鉄軌道を含む新たな公共交通システム(以後「鉄軌道」という)の計画案づくりの検討状況をお伝えするため、県民の皆さまに配布しています。今後も検討状況にあわせて、継続的に発行していく予定です。

8ページ(最後のページ)にあるアンケートに答えてね!



あなたのご意見お聞かせください!

うにげーさびら

那覇～名護間を1時間で結ぶ鉄軌道導入に向け、計画案づくりを進めています。

- 沖縄県では、
 - ・県土の均衡ある発展
 - ・県民及び観光客の移動利便性の向上
 - ・中南部都市圏の交通渋滞の緩和
 などを図る観点から鉄軌道の導入に向け、鉄軌道の計画案づくりに取り組んでいます。
- 計画案は、県民の皆さまからのご意見をいただきながら検討を進めていくこととしています。

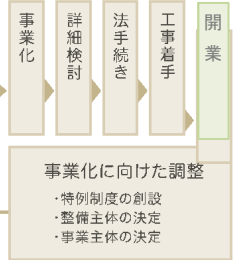
計画案の内容

1. 鉄軌道整備計画
 - ・起終点の概ねの位置
 - ・概ねのルート
 - ・想定するシステム
 - ・概ねの駅位置の考え方
 - ・主な構造(平面、高架、地下等)
2. フィーダー交通ネットワークのあり方
3. 沿線市町村の役割
 - ・駅を考慮したまちづくり計画の検討
 - ・自動車交通から公共交通転換への取組実施

上位計画

- ・沖縄21世紀ビジョン
- ・沖縄県総合交通体系基本計画

構想段階
計画案策定



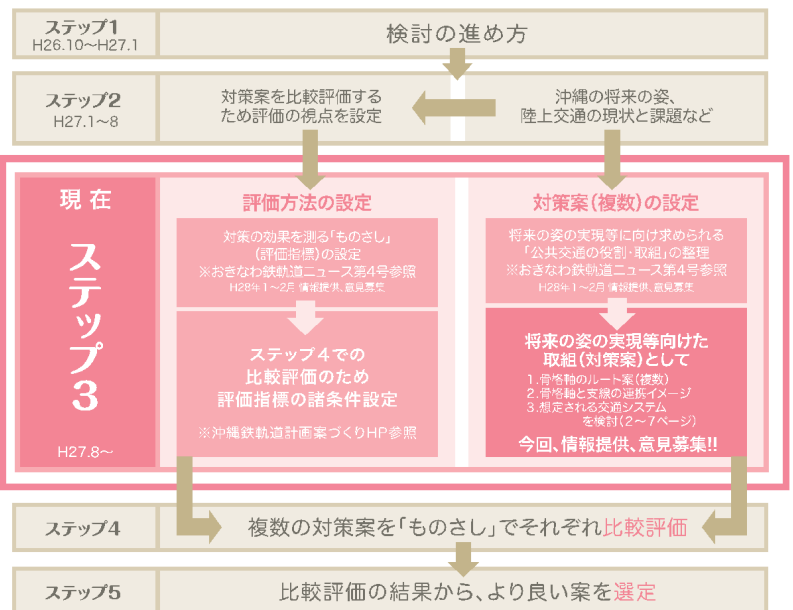
計画案は、5つのステップで段階的に検討
現在、ステップ3でルート(案)などを検討中!

★ステップ3では

- ・これまで検討してきた沖縄の将来の姿や、陸上交通の現状と課題を踏まえ、今後、具体的な検討が求められる取組(対策案)として、鉄軌道の複数のルート案などを設定します。
- ・また、複数のルート案を比較するための「ものさし」やその諸条件を設定します。

★ステップ4以降は

- ・複数の対策案を評価指標を用いて比較評価し、より良い案を選定します。



1. 骨格軸のルート

「おきなわ鉄軌道ニュース(第4号)」で県民のみなさまと確認した「将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割」を踏まえ、骨格軸のルート案を検討しました。

将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割

※H28.1～2の県民意見を踏まえ、上記役割を果たすために必要な視点として「持続可能性の観点から、採算性(利用促進を含む)を考慮した公共交通」を追加

(注) 「おきなわ鉄軌道ニュース 第4号」参照

ルート案検討の視点

(1) 公共交通軸の構築

- ・那覇と名護間を利便性の高い公共交通ネットワークの骨格軸として設定

(2) 多くの人々が利用できる地域を經由

- ・多くの人々が住んでいる地域、働いている地域
- ・多くの県民、観光客の移動している地域
- ・バス利用者が多い地域
- ・宿泊施設(客室数)が多い地域

(3) 自動車交通が集中している地域を經由

- ・自動車などの交通量が多い地域

(4) まちづくり支援

- ・地域の開発計画などを考慮

上の(1)～(4)の視点に加え、採算性を考慮した検討を行う。

※留意事項

骨格軸は速達性を重視することから、極端な大回りとならないよう留意する。

おきなわ鉄軌道ニュース(第4号)で示した「公共交通の役割」

圏域間連携の強化

広域的地域圏の形成に向け、那覇と名護間における骨格性、速達性(1時間)、定時性などを備えた公共交通軸の構築による圏域間連携の強化

移動利便性の向上

公共交通の有機的連携による県民や観光客の移動利便性の向上

交通の円滑化

県民や観光客の交通流動が多い地域における交通の円滑化

交通渋滞の緩和

自動車交通が集中する地域における交通渋滞緩和

まちづくりの支援

中南部都市圏の都市軸形成支援やまちづくりとの連携等

案（複数）の検討

ルート案（A～D案）

現在のステップ3は、複数のルート案を設定する段階です。
 今後、ステップ4以降で、ルート案について比較評価し、より良い案を選定いくことにしています。

A案: 中部西・北部西ルート (約60km)



B案: 中部西・北部東ルート (約67km)



公共交通の
役割をふまえ、
ルートを
考えてね!

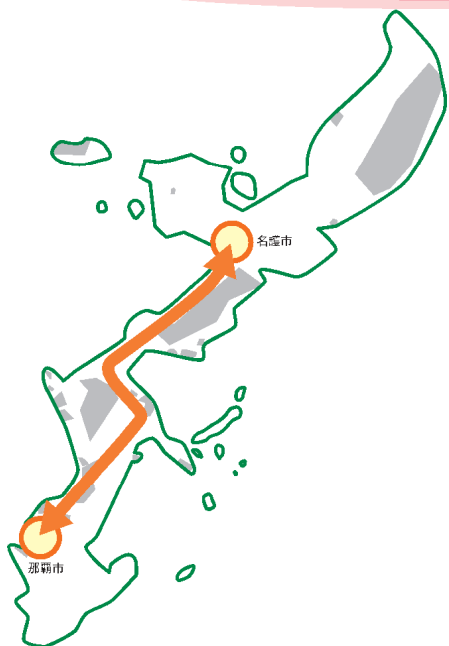
凡例

 ルート案
 米産施設

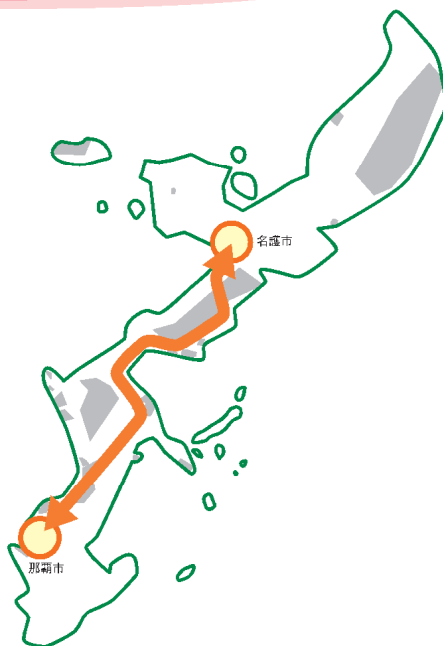
質問

4つのルート案以外にも、どのようなルート案が考えられますか？それは、どのような理由からですか？

* 8ページのアンケート問2でお答えください。



C案: 中部東・北部西ルート (約63km)



D案: 中部東・北部東ルート (約67km)

3 想定される公

- ・本計画案策定（構想段階）では、想定されるシステムの検討までを行います。
- ・普通鉄道、小型鉄道、モノレールやLRTといった具体的なシステム選定は、本計画案策定後の詳細検討の段階で行います。

骨格軸のシステム検討

検討の考え方

- 那覇と名護間60km～70kmの骨格軸を1時間で結ぶスピードを確保するため、専用軌道を有するシステムが求められます。
- 骨格軸の需要に適した大量輸送能力を確保するため、輸送能力が小型鉄道程度のシステムが求められます。

骨格軸に想定されるシステム

- 小型鉄道
- モノレール AGT HSST
- LRT（専用軌道）

支線のシステム検討

検討の考え方

- 速達性、定時性、乗降のしやすさや、地域のまちづくりに適したシステム
- 地域の公共交通に適した輸送能力が求められます。

支線に想定されるシステム

- 既存のバス路線が地域と主要施設に接していることから、支線には主に路線バス
- 需要が多く路線バスでは非効率な地域に応じたシステムとして、BRTや

(参考) 国内で運行されて

専用軌道を有するシステム

	鉄道		新交通システム	
	普通鉄道	小型鉄道	モノレール	AGT
代表的な事例	つくばエクスプレス、地下鉄等多数	福岡市七隈線、仙台市東西線等	沖縄都市モノレール等	日暮里・舎人ライナー 等
				
概要	・ JRや私鉄等で一般的に運行しているシステム	・ 車両の小型化などで普通鉄道よりコスト削減が期待できるシステム	・ 道路上空に敷設された一本の軌道桁を走行するシステム	・ 道路上空に敷設された専用軌道をゴムタイヤで走行するシステム
運行速度	高速			
	130km/h程度	80km/h程度 海外事例：100km/h 開発中：110km/h	80km/h程度 開発により速度向上の可能性がある	60km/h程度 海外事例：80km/h 開発中：120km/h
定時性	高い			
	専用軌道を走行するので、一般車両の渋滞や信号の影響を受けず、 運行時間が正確（定時性が高い） 。			
輸送力 (片方向)	大量			
	6,000～12,000人/h	3,500～7,500人/h	2,500～6,000人/h	5,000～8,000人/h
建設費	高い			
	高架 100～150億円/km トンネル 200～300億円/km		高架 80～150億円/km トンネル 200～250億円/km	

※建設費は事例を参考に概ねの額を示したもので、周辺環境や地盤条件等によって変動する場合があります。

公共交通システム



電車は駅で止まるから、那覇と名護の間を1時間で走るには最高時速100km以上の交通システムが必要なんだね。

ってことは、骨格軸には専用軌道が必要だ！

、他の交通機関との連携システムが求められます。
力をもったシステムが求めら

設などを結んで運行されてバスの活用が想定されます。
地域では、地域のまちづくりLRTなども想定されます。

コラム ～専用軌道と併用軌道の違い～

専用軌道とは？

- ・専用の敷地、高架やトンネルを専用軌道として設置するもの。
- ・自動車や歩行者などの影響を受けず、定時性や速達性は高い。



高架橋による専用軌道



地下トンネルによる専用軌道



併用軌道とは？

- ・道路の一部を利用して、車道と併走して設置するもの。
- ・自動車や歩行者などの影響を受けるほか、法律により速度制限がある。



自動車と併走する路面電車（LRT）



自動車と併走する基幹バス（BRT）



自動車と併走する路線バス

いる交通システム

HSST	LRT (専用軌道)	併用軌道を有する(道路併走)システム		
		LRT (併用軌道)	BRT	バス
東部丘陵線（リニモ）	広島電鉄宮島線 等	函館市、熊本市、鹿児島市 等	大船渡線BRT、ゆとりとライン 等	一般路線バス、高速路線バス 等
				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路上空に施設された専用軌道を電磁石で浮上して走行するシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 併用軌道を走行するLRTが、専用軌道を走行するシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 従来の路面電車より低床な車両が、併用軌道を走行するシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスが専用道路や専用車線を走行するシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般の道路を走行するバスによる従来の交通システム
低速				
100km/h程度	60km/h程度 海外事例：100km/h	40km/h (軌道法)	60km/h（一般道）(道路交通法) ※制限速度は道路により異なる。	低い
道路の渋滞や信号などの影響を受ける（遅延等が発生）。				
少量				
4,800人/h程度	2,500～4,500人/h	2,500～4,500人/h	2,000～4,000人/h	1,000～2,000人/h
低い				
既存インフラを活用するので費用がかからない。				
道路内 20～30億円/km			道路内 10～20億円/km	

**パネル展示等の
お知らせ**

平成28年5月中旬から県内各地で、鉄軌道計画づくりの検討状況をお知らせするパネル展示や県職員を配置したオープンハウスを実施する予定です。オープンハウスは、下表のパネル展示期間中、「○○市役所○日オープンハウス(例)」と表記した場所・日程で実施します。オープンハウスは全て午後実施します。

パネル展示・オープンハウス実施スケジュール

※スケジュール・場所は予告なく変更する場合もございます。

公共施設・商業施設	5/20～5/27	沖縄県庁	5/26～6/3	西原町役場、南城市役所大里庁舎
	5/20～5/24	イオン名護20日,21日オープンハウス、道の駅許田、イオン北谷22日,24日オープンハウス、モノレール県庁前駅	6/2～6/6	イオン那覇3日,5日オープンハウス、サンエー経塚シティ、サンエー豊見城ウイングシティ、イオンタウン南城大里2日,5日オープンハウス
	5/20～5/26	糸満市役所	6/2～6/8	南風原町役場
	5/21～5/26	中城村吉の浦会館	6/3～6/7	うるま市健康福祉センターうるみん、久米島空港、プラザハウス
	5/23～5/27	読谷村役場、沖縄市役所、北谷町役場、宜野湾市役所、浦添市役所	6/6～6/10	道の駅ゆいゆい国頭6日オープンハウス、道の駅おおきみ、東村役場、今帰仁村コミュニティセンター、名護市役所、宜野座村役場、恩納村役場、金武町役場
	5/25～5/31	北中城村役場	6/7～6/13	与那原町役場
	5/26～5/30	イオン具志川27日,29日オープンハウス、サンエー西原シティ	6/8～6/14	那覇市役所、八重瀬町役場
	5/26～6/1	嘉手納町役場	6/9～6/15	本部町役場、石垣市役所9日オープンハウス
	5/27～6/2	宮古島市役所31日オープンハウス		
	5/30～6/2	豊見城市役所		
病院	5/23～5/27	県立中部病院、県立南部医療センター・子ども医療センター	5/23～5/27	名桜大学、琉球大学25日オープンハウス、沖縄工業高等学校専門学校
	6/6～6/10	県立北部病院	6/7～6/14	沖縄女子短期大学7日オープンハウス
			6/8～6/14	沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教伝道大学10日オープンハウス、県立芸術大学、県立看護大学

県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会実施スケジュール

市町村会議	5月23日(月) 14:00～16:00	沖縄県南部合同庁舎5階第1～4会議室
県民会議	6月4日(土) 13:00～17:00	沖縄県中部合同庁舎4階第1～4会議室
関係機関等 意見交換会	6月8日(水) 14:00～16:00	沖縄県南部合同庁舎5階第1・2会議室

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちら！

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
 沖縄県企画部交通政策課
 電話:098-866-2045 FAX:098-866-2448
 メールアドレス info@oki-tetsukidou-pi.com
(沖縄鉄軌道構想段階PI)
 ホームページ <http://www.oki-tetsukidou-pi.com>



沖縄 鉄軌道 検索

郵送の場合は、下記を切り取り、封筒に貼り付けてください。
 当方で送料を負担します

郵送、FAXの場合は、下記を切り取りご利用ください。

料金を受取る郵便
 901-2190 430
 浦添局 承認 430
 差出有効期間 平成28年 ●月●日まで
 (受取人) 那覇中央郵便局 私書箱第175号
 沖縄県 企画部 交通政策課
 「沖縄鉄軌道・計画案づくりPI係」
(沖縄広告(株)宛付)

切り取り

【居住地】 _____ 県 _____ 市・町・村

以下の内容について、○をつけて下さい。

【性別】 男 女 【年齢層】 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～

【問1】沖縄県が、鉄軌道導入の取組を行っていることについて

1. 今回知った 2. 以前から知っていた

【問2】①「1. 骨格軸のルート案(複数)の検討」について理解できましたか？

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった

②「ルート案検討の視点」から、4つのルート案がしめされました。

他にも、どのようなルート案が考えられますか？それは、どのような理由からですか？(2～3ページ参照)

経由する市町村をご記入ください。



【問3】その他ご意見、ご要望など、ご自由にお書きください

切り取り

【意見募集期間】

平成28年5月16日～6月15日

皆さまの声を今後の検討に反映させていただくため、右のアンケートにお答えの上、郵送、FAX、電子メールにてお送りください。
 (ホームページ、スマートフォンでは直接入力ができます)

平成28年1月～2月に実施しましたアンケートへのご協力ありがとうございました。
 皆さまからいただきましたご意見及び対応方針は、沖縄鉄軌道ホームページに掲載しております。